

国民生活基礎調査のがん検診受診率に関する質問票の妥当性評価のための研究

1. 研究の対象

宮城県対がん協会の検診センターにおいて2020年4月1日から2024年3月31日までにがん検診を受診された方のうち、約4,000人を抽出して質問票をお送りします。研究に同意され、有効な回答を返送下さった方を解析の対象とします。

2. 研究目的・方法

(目的)

本邦でがん検診の受診率を推計するにあたって使用されている国民生活基礎調査の質問票の妥当性(正確性)を検証することを目的とします。

(方法)

過去の受診歴を把握できている方に国民生活基礎調査と同じ内容の質問票をお送りし、その回答結果と実際の受診状況にどの程度ずれがあるのかを確認します。

(研究実施期間)

研究許可日～2025年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

宮城県対がん協会の電子カルテから抽出した、年齢、性別、保険種別(社保、国保など)、過去のがん検診受診状況等の情報を使用します。

個人の氏名や住所は、質問票の郵送時にのみ使用し、その他の情報は別途付与された研究用番号によって管理されます。個人識別情報と研究用番号との対応表は宮城県対がん協会内で保管され、解析担当者がその対応表を確認することは原則としてありません。

4. 外部への試料・情報の提供

本研究で収集した質問票の回答の集計は、国立がん研究センターがん対策研究所検診研究部にて行います。また、質問票にご回答頂いた方の情報は、上述の研究用番号を用いて氏名、住所等の個人を識別可能な情報を削除した状態で宮城県対がん協会から国立がん研究センターがん対策研究所検診研究部へ共有されます。

本研究で用いた情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関(試料・情報の授受を行う機関すべて)公式ホームページ等にて情報公開いたします。

国立がん研究センターが参加する研究の公開情報については国立がん研究センターの公式ホームページより確認することができます。 (<https://www.ncc.go.jp/>)

5. 研究組織・研究責任者

研究機関名	所属	研究者氏名
国立がん研究センター	がん対策研究所検診研究部	中山 富雄 (研究代表者／研究責任者)
	がん対策研究所検診研究部	難波 俊文
	がん対策研究所検診研究部	高橋 則晃
宮城県対がん協会	がん検診センター	加藤 勝章 (研究責任者)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
国立がん研究センターがん対策研究所検診研究部 難波 俊文
東京都中央区築地 5-1-1
電話番号：03-3542-2511 (内線) 3314